

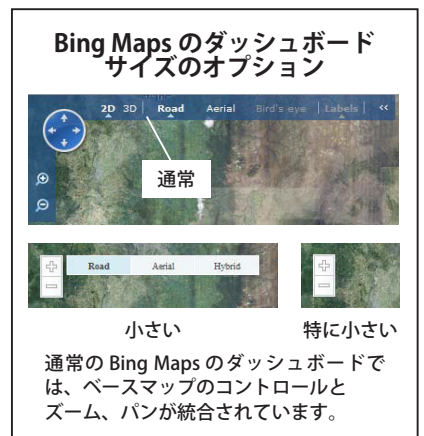
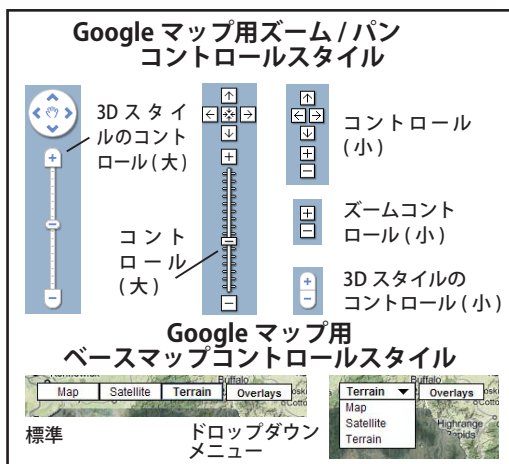
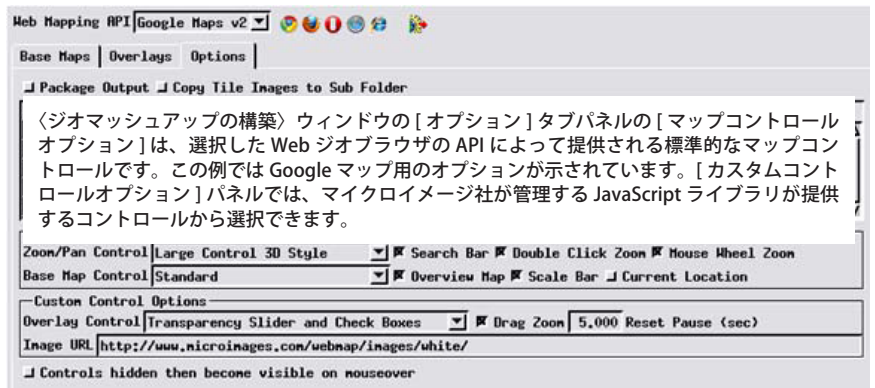
ジオマッシュアップのコントロールオプション

TNTmips のジオマッシュアップ処理を使用して、自分のタイルセットや KML ファイルを、他のリモートソースの地理データレイヤと組み合わせて、Google マップや Bing Maps、Google Earth 等の Web ジョブラウザで表示することが出来ます。〈ジオマッシュアップの構築 (Assemble Geomashups)〉ウィンドウの [オプション (Options)] タブパネルでは、ジオマッシュアップに含めるコントロールのタイプを標準またはカスタムインターフェースから選択することが出来ます。

ジオマッシュアップ構築処理の他の側面については、ジオメディアの公開に関するテクニカルガイドの「ジオマッシュアップへようこそ (Introduction to Geomashups)」、「ジオマッシュアップ用カスタムベースマップの管理 (Managing Custom Base Maps for Geomashups)」、「ジオマッシュアップ用カスタムオーバーレイの管理 (Managing Custom Overlays for Geomashups)」、及び「ジオマッシュアップのデータ管理オプション (Geomashup Data Management Options)」で解説しています。

標準マップコントロールオプション

[オプション] パネルの [マップコントロールオプション] セクションでは、ユーザが選んだ Web マッピング用 API (すなわちジオマッシュアップを表示するジョブラウザ) が提供する標準のコントロールや機能から選択可能です。そのため、このセクションで提供される機能は、選択した API によって変わります。Google マップと Bing Maps 用の [マップコントロールオプション] セクションが右に示されています。



Google マップには、ズーム/パンのコントロールとは別に、表示するベースマップ (Google 社が提供する地図とユーザの地図) を切り替えるベースマップコントロールがあります。Google マップ用の [マップコントロールオプション] パネルのメニューを使えば、上図のようにいくつかのスタイルの中からコントロールの形状を選ぶことが出来ます。

Bing Maps では、ベースマップの選択機能とズーム/パンは 1 つのダッシュボードに集められています。Bing Maps 用の [マップコントロールオプション] の [ダッシュボードのサイズ (Dashboard Size)] メニューを使って、いくつかのスタイルからダッシュボードの形状を選ぶことができます (右上の図)。Google Earth のジオマッシュアップには、上に示すような 1 種類の 3D コントロールが提供されます。

〈ジオマッシュアップの構築〉ウィンドウの [マップコントロールオプション] のトグルボタンを使うと、自分のジオマッシュアップに追加のコントロールを含めることができます。これらの追加的なコントロールについては、Google マップについては上の図で、Bing Maps と Google Earth については裏面の図で説明しています。



例として Google マップのマッシュアップを使った、標準のマップコントロールの用語 (選択した Web マッピング API で利用可)。Google マップのスケールバーは検索バーと同時に使用できません (両方も、ジョブラウザ画面の左下隅に配置されるため)。



Bing Maps で利用できる標準マップコントロール



Google Earth のマッシュアップで利用可能なマップコントロール

Google マップ、Bing Maps、Google Earth 用のジオマッシュアップには、全体図やスケールバー、現在地の表示を含めることが出来ます。現在地の表示機能は、ジオブラウザの画面に表示している場所の地名を階層的に表示します。さらに Google マップと Bing Maps では標準の検索コントロールを含めることも出来ます (Google Earth のジオマッシュアップにはカスタムの検索コントロールを [カスタムコントロールオプション] から設定できます)。これらの画面上のコントロールの他、Google マップ用ジオマッシュアップでは、表示画面内でダブルクリックしたりマウスホイールを使用したズームを実装することも可能です。右のチェックリストに、各ジオブラウザで使用できる標準のコントロールをまとめました。



Google Earth のマッシュアップ用のマップコントロールオプション

Google Earth 用ジオマッシュアップでは、[マップコントロールオプション] に大気圏の効果や、下に示す参照用オーバーレイを追加するトグルが含まれています：

- グリッド：経度 / 緯度の格子線
- 道路：道路と道路名
- 境界線：国と地域の境界線と地名

カスタムコントロールオプション

[オプション] パネルの [カスタムコントロールオプション] では、マイクロイメージ社が管理している JavaScript ライブラリによって提供されるカスタムコントロールを選択できます。主なオプションは、異なるスタイルのオーバーレイコントロールとズームボックス (ドラッグズーム) ツールです。

[オーバーレイコントロール (Overlay Control)] メニューには、4 種類のスタイルのコントロールがあり、選択したジオブラウザによって選択肢が変わります (右上のチェックリスト参照)。これらのオプションには、レイヤのオン / オフを切り替えるコントロール (チェックボックス、ラジオボタン、ドロップダウンメニュー) や、オーバーレイの透過度をダイナミックに変えるスライダーなど、いくつかのコントロールが提供されています。(スライダーはアクティブなオーバーレイのみに現れます)。

[カスタムコントロールオプション] の [スライダー画像の URL (Image URL)] フィールドは、スライダーに使う画像を設定します。スライダーを変えないのであれば、フィールドの既定値を変える必要はありません。



カスタムの [ドラッグズーム] コントロールを使用すると、ジオブラウザの表示画面でボックスをドラッグして、見たい領域を拡大することが出来ます。このツールは Google マップの上部に表示されています (左上の丸で囲んだアイコン)。同様のコントロールが Bing Maps にもあり、ホーム表示に戻るアイコンの近くにありますが (右)。

カスタムオーバーレイコントロールのチェックリスト			
コントロール	Google マップ	Bing Maps	Google Earth
透明度のスライダーとチェックボックス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
チェックボックスのみ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ラジオボタン	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
透明度のあるスライダーとドロップダウンメニュー	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

Google マップまたは Bing Maps の API を選択した時には [ドラッグズーム (Drag Zoom)] トグルが使えます。このトグルをオンにすると、ジオブラウザの表示画面上でズームボックスをドラッグできます。このツールを使うには、画面左上のアイコンボタンを押します。ズームボックスをドラッグする間、表示画面が一時的に暗くなります。ズームした後の短い間、ツールはアクティブのままです。アクティブ状態の持続時間 (秒) は [カスタムコントロールオプション] で設定できます。

Google マップ用のジオマッシュアップの [コントロールを通常、非表示にする。マウスを乗せると表示する (Controls hidden then become visible on mouseover)] トグルは、マウスカーソルがブラウザ画面の外に出た時、全てのコントロール (標準とカスタム) を非表示にする機能です。